

紫 筍

第 29 号



(文化祭にて)

都立文京高等学校同窓会会誌

昭和61年12月1日刊

目次

奨学金申込者

(一口五千円)

四口

椎橋 章二 (6A)

三口

早瀬 久雄 (6D)

本多 昭子 (15A)

二口

木村 欽一 (2A)

渡辺 千里 (28F)

石塚 嘉典 (16A)

村主 昌義 (3E)

松永 節雄 (2D)

福山 裕久 (4C)

湖山 聖道 (2A)

太田 晶也 (4A)

神戸 善裕 (3C)

渡辺 吉章 (21G)

鈴木喜与光 (4C)

篠原 莊輔 (3C)

村上 圭 (9F)

菊池 達長 (4C)

平塚 和夫 (3A)

田中 伸枝 (12A)

椎名 健二 (5E)

岡部 好成 (6C)

森 玲子 (25I)

藤ヶ谷敏明 (3C)

水谷 義文 (3E)

藍原 康裕 (1C)

浮島 明進 (1D)

岸山 和義 (4F)

萱場忠一郎 (2B)

竹中 玲子 (28I)

山田 精一 (1A・B)

杉本喜一郎 (3B)

時国 匡夫 (2E)

本城 義夫 (37C)

福永 頌 (5B)

本間 康雄 (4B)

岡 昇 (4A)

小山 薫 (22I)

福本 健次 (4C)

鶴沢 武 (9A)

関根 秀次 (9C)

築瀬 明道 (12E)

山元 幸子 (20D)

矢島 誠 (22D)

山本小夜子 (35A)

大塚 紀夫 (10C)

佐藤 克就 (26I)

御園富美雄 (5B)

羽場 弘明 (27C)

高橋 正 (5C)

真部 允宏 (11A)

細川 寿久 (12A)

石川 博康 (18A)

大場みよ子 (22A)

千川 英一 (1A)

松原 紀文 (11A)

野口 孝平 (5A)

佐藤 佳男 (4C)

原 健司 (28C)

堀池 寛 (6D)

滝谷敬一郎 (12D)

野村 藏治 (2D)

麻生 勝典 (16C)

橋本 浩一 (13F)

橋本 治子 (12A)

石井 恵 (8B)

仲田 晋 (9F)

村上 勉 (21D)

佐藤 治夫 (6E)

日江井英夫 (2A)

泉 誠一 (9A)

渡辺 隆根 (10D)

(前号後から、61年10月までの分)

毎年卒業生の中から、文京生として奨学にふさわしい方に対し、予算の範囲内で、図書券を贈ることとし、61年3月の卒業生から実施いたしました。

(基金約三百万円の利息相当額を中心として行います。)

表紙写真 (昭和61・9・27) 文化祭……………表1	目次・奨学金申込者……………表2
かつとびの自動車評論家……………鈴木五郎	福永 頌 (本名)……………1 3
市三会会合 (母校校長室で)……………	中西 龍……………3
くらしの中の詩心……………	岡本光典……………4
スポーツライト……………	高須章光……………5
学生と社会人……………	川島計治先生回想録について……………7
第五回現旧教職員集い (写真)……………8	御逝去……………阿部桂太郎先生……………10
校章の由緒について……………末 正明……………11	奨学金 (図書券) を贈られた卒業生……………11
母校写真 (マラソン大会、大雪)……………12	体育祭・文化祭……………13
進路状況 (国公立・私大四年・短大)……………14	(各種専修学校・就職状況 61年卒)
同窓会賛助者名……………16	表3
会計 (決算・予算)・後記……………表4	表4

第11弾

かつとぶ

自動車評論家

鈴木五郎

福永 頌(本名)

プロフィール

昭和28年3月(5期)卒業後、日本大学の機械科へと進み、オートバイに興味を引かれる。後に、昭和製作所、東京発動機の技術研究所を経て、日本モーターサイクル協会(MFJ)の職員となる。その事をきっかけに、レースを見る機会が増え、現在の自動車評論家となる。自動車ジャーナリスト協会(ANAJA)会員。筆名、鈴木五郎 んだよね。



直撃インタビュー第11弾は、自動車評論家として活躍なさっている福永頌さんです。福永さんの文京高校時代、現在の職業を中心いろいろな語っていただきました。それでは、お届けいたします。

今の仕事

Q、自動車評論家とは、どういう仕事をする職業なのですか？

A、社会では、自動車ジャーナリストということ通っているんですね。ジャーナリストのうちで自動車に関することをやっている人のことでしょう。日本語でジャーナリストは訳しにくい。それで、世間は評論家と呼ぶでしょう。結局、僕は「自動車のことは何でも書きますよ」というように考えています。

Q、現在の仕事で苦労したことは？

A、苦労しているのは、生きるためですからねえ、いっぱいありましたけど仕方ありませんよ。文章を書くのは、やっぱり難しい。言葉をうまく使わなければならぬし。

Q、自動車について、どのような物と考えていますか？

A、自動車は日常使われる物であって、技術的にどうのこうの言うより、使えればいい

車への興味

Q、高校生の頃は、やはり自動車に興味を持っていましたか？

A、僕が高校生だった頃は、自動車は少なかつたし、だいたい昭和41年がマイカー元年と言われていたからね。むしろオートバイの方が興味あつたかな。

Q、といたしますと、オートバイをいじりはじめたのは？

A、うん、いじりはじめたのは高3のときだったかなあ。でもその頃は、高校でいじらせてくれなかつた。

Q、オートバイ通学などは？

A、そんなのなかつた。オートバイも、稀にしか見られなかつたし、高校生がオートバイに乗るのは罪悪だったんじゃないかなあ。高価だったからねえ。あこがれに近かつたと思います。

Q、失礼ですがいつ頃の話ですか？

A、僕のいた文京高校が元町小学校に同居していて、そう3年の時に今の敷地に移ったんですよ。だから27年かな。

Q、オートバイに興味を持ちはじめたのは、その頃ですか？

A、中学時代にさかのぼるかな。夏休みにエンジンジンの断面図を書いたんだ。

Q、すごいですねえ。

A、どうせ丸写しだよ(本の)。(笑)

でも高校へ行ってから機械関係の方面に進もうと思ったよ。そういえば、なぜかモーターショーをみに行った。宿題もやらずにね。そう金指先生という物理の先生が僕の担任だった。宿題を忘れたんだ。そして先生は、「宿題もやらずに、お前何をしていった。」と言ったので「モーターショーをみに行ってました。」と答えたんだ、そしたら「何が面白かった。」と聞いたので「オートバイが、それは、面白かった。」と言ったら許してもらったよ。(笑)

文京時代

Q、文京にいた時の、クラブ活動は？

A、山岳部に入っていたんだ。山岳部ってお金がかかるんだよね。だから実際には湯島天神の石垣をのぼれとか言われて。

Q、先輩にですか？

A、そう。それから、先輩に言われて文京の建物の屋上からザイルを降ろして、下まで降りたことがあるよ。

Q、えーっ。

A、それで校長先生にみつかって、おこられたんだ。(笑) そしてねえ「だって先輩がやっていたんだよ。」とか言い訳をしたんだ。(笑)

Q、本物の山には？

A、高3の夏に友達4人と蓼科山に行ったんだ。お金は、屑屋のアルバイトをしたんだ。受験勉強は、やっていなかったんだねえ。

Q、なぜ屑屋をやったのですか？

A、もうかったからだよ。

Q、高校で楽しかったことは？

A、演劇部にも入っていたんだ。それで授業免除のときがあったんだ。予選みたいなのが土曜とか日曜に行かなければならなくてね。そういえば3年のとき文化祭で友達が芝居の脚本をつくって、クラスで自作自演の芝居をやったんだ。そうそう「3年B組受験体制完了！」なんて看板つくってねえ。勉強しなかったのに、先生におこられちゃったよ。(笑)

Q、つらかったことは？

A、なぜかあの頃の文京は、朝8時からじ

まったんだ。それで家も遠かったから、それは、つらかった。その代わり下校時間が早かったね。きつとそれでモーターショーなんか、行ったんだね。それから、なぜか先輩達が、えらいスバルタンだった。

Q、といいますと、縦の関係が強かったのですね。

A、強いというほどでもなかったけど、いじめなんかでは、なかった。でも、こわかった。僕は小さかったから、かわいがつてもらったけど。(笑) それにねえ、先輩たちにおごってもらったりね。でも遊んでばかりじゃなかった。夏休みなどは、勉強を教えてもらったよ。わざわざ学校に行つてね。それで、ちょっと間違えると、おこるんだ。あれもつらかった。(笑)

Q、勉強は、よくやったのですか？

A、朝早くきて勉強したなあ。

Q、すごいじゃないですか。

A、でも毎日じゃなかった。そういえば秋になって模試を頻繁にやってね。何番かというのを名前といっしょに、ずらつと貼られたんだ。一度だけ全体で2番になったよ。

でもあとは、うずもれていた。(笑) 受験勉強は、さきに述べたとおり、一生懸命やった覚えがないんだ。英語が苦手だね。試験

のとき一行について2つぐらい単語がわからなかったりね。そういえば、東大は僕にとって遊び場のようにしかおもえなかった。友達が東大に住んでいたもの。

Q、えっ、どういうことですか？

A、友達の親が東大の何かをやっていたんだろうね。例えば守衛さんみたいなのをやっていたんだらうね。よくわからないけれども。

Q、文京にいた頃は、どういう生徒だったと思いますか？

A、僕は、不真面目だったかな。でもそう、3つ上に兄貴がいて文京だったんだ。それで僕は、よく言われたよ「兄貴は、そうじやなかったぞ。」って先生に。(笑) 先生方がよく兄貴のこと知っていてね。兄貴は、コチコチの真面目だったから。僕は、よく比較された。だって屋上からザイルでねえ……(笑) 先生方に、ほめられたこともあるよ。「君は明朗活発でよい。」(笑) 人から見ると僕は、小さかったし、あまり目立たなかつたなあ。そういえば僕たちの同期から、女生徒が入ってきたんだ。50人中10人だったかな。

Q、それでは、恋などは？

A、僕は硬派でした。(笑)

現代へ

Q、英語が苦手だと先程おっしゃいましたが、現在は？

A、海外へは、30回ぐらい行ったよ。英語は慣れだと思っよ。そういえば、こんなことがあったなあ。あるイギリス人が、「小麦粉の袋をたたきつけない。」と言っんだ。でもそこには、小麦粉の袋なんてなかった。

もしたら、いっしょにいた友達が、そのイギリス人の言った言葉は、わからないけど顔つきをみて、僕に、そのイギリス人が、怒っていることを教えてくれたんだ。(笑) 話しているその言葉は、わかるんだけどそれが一体、何を意味しているのか、わからない場合、けっこうあるんだよね。

Q、評論家として現代をどのようにみていますか？

A、僕は技術屋あがりだから、その方向から見てしまうのですが、(それは、置いておいて) バイクの三ない運動などで、バイクをなくすのは、現代では無理なんだと思う。でも、だめだ、だめだと言いつつ、ダメなんだと思う。その枠の中で最大限できるように、あきらめないで努力すれば、そうすれば、時間がたてば、変わってくるものだと思う。他のいろいろなことについて

も言えると思うけれど、いつも挫折感を味わっているのはダメ、でも、枠はずれたらダメ。枠を、破壊してではなく、発展させて……。

* * *

インタビュをはじめた頃は、緊張した空気で満たされていましたが、話が進むにつれ、初対面とは、思えぬほど和やかな雰囲気になりました。福永さん(鈴木五郎さん)の益々のご活躍、ご発展を、お祈りいたします。今日は、有り難うございました。(野尻嘉平・大久保秀之・根木知幸 インタビュー)

市三会 61.4.13(母校校長室にて)



(校長・教頭・田崎・菅野先生をお迎えして)

くらしの中の詩心うたこころ

二期A組

中西なかに

龍りゅう

■中西龍氏は昭和3年生まれ、本校の前身・豊島中学を20年に卒業。長年活躍されたNHKを2年前に希望退職後も、ラジオの「にっぽんのメロディー」や、「俳句の手帖」等の著書を通して多くの



ファンをお持ちの方です。——「いつも何を見ているかと問われれば、夢と答える。いつも何を追っているかと問われれば、幻と答える……」（氏の記事より）

母校PTA総会での講演から編集。

次男が大学入試に失敗し、私も親として考えました。「将来一人前の人間として生きていくために大学を必要と考えるなら、もっと真剣にぶつかってもいいんじゃないの?」と。しかし、ただ「勉強せい、勉強せい」と言うだけなのはいやな性分なので、35年前に戻り、私も勉強するにしました。この3月25日から向こう一年間、月に何万円と買っていた好きな文学書も断って、日本史と英文標準問題精講の二冊以外、読まないと言いました。人間と動物の一番がうところは、人間には想像力があることだと思います。想像力の豊かな方は、限られた人生を一六〇倍にも、二〇〇倍にも生きられると思います。「月に行くことが出来たら」という想像からアポロ宇宙船は生まれたのだ、と思うのです。

私は今、NHKラジオで毎晩「にっぽんのメロデー」という番組をやっています。なつメロ希望曲をかけ、詩心を大切に、ということ、俳句を一句紹介し、これに私の独断と偏見に満ちたコメントをつけて放送してい

るわけです。「白菊や学問深き人なりき」この十七文字からどんな情景を想像されますか。少なくとも四〇〇字くらいの情景は展開していただきたい。いかがですか?

前にある雑誌に書いた一文をお聞き下さい。
……風呂場のすみにコオロギがいるのに気がついた。秋を美しい音色で飾る小さな虫が死なないように注意したつもりで湯を使ったが、腹を上にしてもがくような形になって……だがホッとしたり、やおろ慎重に動き出したのである。家人を呼んでこのうれしさを告げると、「なに言ってるんですか、ゴキブリじゃありませんか……あなたは何でも物事を美しく見ようとして得意になってんのねえ。いい年をして幸せな人!」……わたしはゆっくりと湯につかった。無知によるとはいえ、これは美しい錯覚とよんでもいいな、とうれしかった。……虫だけのことではない。人間同士、男と女の間柄だっけかくあれば波風は少ななくてすむ。風呂場の外、雨はやまず、どこかで本物のコオロギがきれいな声で鳴いていた。
ひと組の男女が波静かに生きていくだけでもこの世は大変なところでございますなあ。それにしても人間、うぶな心のままで、なるべくなら死ぬまでいたいと存じます。

まとめ 川崎 式子 (二H・P)

スポットライト

30期G組 昭和53年卒

岡 本 光 央

一筋のスポットライトがステージ中央に彼の姿を映し出す。「最後の歌は……」一瞬言葉が途切れ、彼は天を仰いだ……

本番前、楽屋にて

「気が付いたら10年目。自称ファンの女子高生が一児の母、なんて聞くと時の流れを痛感しますね。最初の頃はただ歌っていれば楽し



(写真提供／毛利吉彦)

かった。今テープで聴くと、よくまあこれです……何て苦笑しますよ。現在はいろいろと考えて……今回は演劇を噛ませてみたんだけどね。音楽的に安定して来たから、他の事を考える余裕が出て来たし。毎回同じ物じゃ見る方も飽きてしまうでしょう。そういう意味から言うくと、観客が一番のライバルだね。それと、

現状に納得しようとする自分。プロになろうと思つた事？無いですよ。一度も、ね。仕事じゃないから出来る部分も多いし……でも、ステージに立った以上は徹する。それがお客様やスタッフに対する礼儀だと思う。よく「練習出来無かつたから……」とか言い分けするのがあるけど、だったら出て来るな、つて言いたい。プロ、アマ関係無く、他人に見せるならそれなりの覚悟で臨んで欲しいな。

若い人達を見て感じる事？うーん、あまりうるさい事は言いたくないけどね……最近、ファクションで楽器を持つ「丘ミュージシャン」が多いのが……ね。格好は御立派、技術まるで無し。「自慰音楽」は隠れてこっそり、自分だけでやって欲しいね。大体、楽器はアクセサリとしては大きすぎるし、重たいと思うよ。真面目な気持ちでやってみようと思つてる人達は自分のカラーと方向性を確立して欲しい。技術的に優れた人はたくさんいるしね。

独自のカラーを感じさせる人もいる。それをどれだけ伸ばし、自分の物にするか。それが出来ればどんどん楽しくなるし、欲も出て来ると思いますよ。いろいろな意味で、ね。」

ここで開演のベル。区が主催する音楽祭へのゲスト出演となる今日のステージは、ドラマの中にコンサートシーンを組み込んだ形を展開して行く。ミュージシャンの男とデザイナーの女、愛しながら別れてゆく二人、いよいよラスト・シーン。ステージ中央に佇み、静かに語り始める彼。

「たつた一言……でも……どうしても言えなかつた一言……時を戻す事が叶わないなら、せめて最後の歌は、千亜、君に捧げたい……」

終了後、再度インタビュ。

「実話か？うーん、半分位かな、あんなにカッコ良くないよ。でも、実際彼女の存在はシンガーとしての僕には大きいですよ。上手く表現出来無ければ、彼女に逢つてから確実に僕の歌は変わった。それだけは言える。歌う事は女性とつきあうのと同じで、経験しないと解らないし、ただ回数を重ねればいいって物でも無い。大切なのは「心」で、これが無ければ何百回くり返しても相手は納得してくれないよ。声量、音域、技術、確かにどれ

も大事な要素に違いないけれど、それにこだわり過ぎたり、頼り過ぎたりするのはや無く、もっとメンタルな部分を大切にしたい。心を込めて相手の心に訴える歌を歌うんだ。それを彼女が教えてくれた。もつともその時には「彼女との時代」は終わってたけどね。彼女？ 今日も来てた。ずっと聴いてくれてる。見込み？ 無い無い。フアンとして来てくれるだけ。現実はそのなにごく無いって。

いつまで続けるか解らない。でもいつ止めてもいい。毎回素晴らしい、最高のスタッフに恵まれ、その時々最高のステージを演じて来たから。毎回、「これが最後のショーだ」と思ってステージに立つ。そしてスポットライトを浴びて持てる全てを放出する。それが僕の「My Way」……だが、結婚したら止めるかもしれない。相手にもよるけれど、ね。そう締め括った彼の視線の先には悪戯っぽく微笑む小柄な女性の姿があった。

学生と社会人

33期H組・昭和56年卒

高須章光

二度目の干支が終ろうとしているにもかか

わらず、私はまだ学生である。さらに来年も一年間、同じ状態が続く。さすがにこの年齢になってくると、友人達は学生生活から足を洗い、一応りっぱな社会人として世に出て、勤労にいそしんでいる。

よく学生と社会人の間には、大きな差があると言われる。社会人を経験したことのない半人前の私にはわからないが、一歩先に社会に出た友人達を見ると、やはり「何か」が違うと思えてくる。高校時代の友人達とは、十年近い付き合いになるが、今までそれほどの差を感じることはなかった。だが最近、彼らは今まで私が見たことのない世界を見始めたようである。

中

神楽坂で仕出し屋の家業を継ぎ、若旦那となった友人がいる。高校生の頃からどこかオヤジくさくさいも威張っていたこの男は、律儀な感じの若旦那というよりは、やり手の古狸といった印象を与える。

ある日、この男がため息まじりに、「金が欲しいな」。

と呟いた。もつともなことである。私も欲しい。百万円あったならアーしてコーして、五百万円あったならソーしようなどと考えていると、続けて

「一億あれば、それを元手にして、アーしたらコーしたらして商売するんだがなあ。」などと言い出した。これには驚いた。発想が違う。性格の違いと言ってしまうとそれまでだが、この男は、金は使うだけの物ではなく、増やす物であることを知っている。それも知識としてではなく、実践にしがたっている。

この男を基準としたなら、私などはやはり足が地についていない宙ぶらりんな人間なのだろうと。その後しばらく考えさせられた。

また別の友人で、昨年地方公務員になった男がいる。大抵の場合就職した直後は、精神的にも肉体的にも負担が多く体重が減るらしいが、この男は逆にどんどん増えていった。よほど楽な職場らしい。「血税」とか「親方日の丸」とかいう言葉が頭の中を掠めぬわけでもないが、自分が直接税金を納めていないためか、彼との交際の障害にはなっていない。それはともかく、別に悩み事もなく安穏と日々を過ごしていると思っていたが、そういうわけでもないらしい。二言目には、

「学生さんがうらやましい。」

と言う。何がそんなにうらやましいのかと聞くと、無限の可能性があるからだと言った。その無限の可能性の中から、今の仕事を選択したのだから、今さらそんなことを言う筋合

いはないと思うのであるが、彼には彼の言い分があり、確かにその無限の可能性の中からの仕事を選んだ。その事については後悔はない。ただこの先自分の進む道が見えてしまった。特に企業と違い役所であるためであるかもしれないが、十年・二十年先の自分の姿が見えてしまう。学生の頃のように、将来が見えず、不安でもあるが同時に胸が高鳴るようなこともなくなってきたというような事を語った。

そんなものでもないだろうと反論したい気もするが、実生活を背景に言われると、どうも押されてしまう。また高校から大学へ進んだ頃のことを思うと、確かに選択肢が減ったように思われる。ましてや社会へ出るとなる

と、と考えてしまう。
社会に出たといつてもまだまだヒヨツ子であるはずの友人達であるが、そんな彼らでも学生の私には大きく見ることがある。時々ではあるが、敬意を持つこともある。だが本人達の前では言わないことにしている。なぜなら、ただでさえ半人前だの臍かじりなどと

故『川島計治回想録』

刊行に関し

ご協賛のお願い!!

母校文京草創の際、兄弟校の市立一中(現九段)から市立三中(現文京)に転任なされた五人の先生の中で、当時最もお若くして赴任された川島計治先生は、戦災などのため短期間のご在籍でしたが、頭脳明晰で淡白なお人柄から生徒の信望も厚く、又ご郷里の鹿兒島に移られてからも引続き、県立鹿兒島工専・同鹿兒島大学・国立鹿兒島大学の創立に次々と参画され、その草創に、至誠一貫日夜全力投球なされ、県教育界に多大の貢献をなさいました。晩年その功績により鹿兒島大学名誉教授、そして没後、勲三等旭日中綬章を贈られました。

過労が因で先生が幽明を異にされて既に十七年を経ましたが、教え子達の先生に対する敬慕の情未だ禁じ難く、関係有志相集い、此処に「川島計治先生回想録」刊行の動きとなりました。

上記趣旨にご賛同の諸先生・諸兄のご理解あるご協賛をお願いします。十一月吉日

(発起人)

旧市立三中(旧職員)奥園佐吉・佐々木益男

(卒業生)一期会・三期会有志

旧市立一中菊二会・四回・十三回他有志一同

旧鹿兒島工専鹿兒島大学職員・同窓生有志

(協賛金) 一口 参千円也(何口でも可)

(振込先) 郵便振替 東京〇―二六六二六番

「川島計治先生回想録刊行会」宛

(事務局) 〒101 東京都千代田区神田神保町

二ノ二(株)末商會内

「同 右」発起人代表 末 正明

電話 〇三―二六一―五一一番

◎先生との想い出などをお持ちの方は、原稿

用紙二枚程度におまとの上、昭和六二年一月末日迄に左記へお送り下さい。

(回想文送付先)

〒156 東京都世田谷区松原六ノ八ノ七

大西 正次(市立一中二回生)

電話〇三―三二八―四五一―三番

お寄せ下さい

◎ 表紙のカット(白黒)

◎ 思い出その他の文章(千四百字位)

(白黒の写真もできれば同封を)

宛先は同窓会、掲載は一任願います。

第五回現旧教職員の集い

61・3・15

視聴覚教室にて、

敬称略させて頂きます。○印は現職の先生。

上二段

- 村岡 (国)
- 伊藤 (国)
- 坂井 (化)
- 大橋 (生)
- 太田 (物)
- 新井 (国)
- 柴崎 (数)
- 浅沼 (数)
- 大畑 (日)
- 木下 (事)
- 高野 (国)
- 樺沢 (数)
- 三浦 (英)
- 桃原 (用)
- 松浦 (英)
- 福本 (正) (体)
- 杉谷 (数)
- 亀井 (体)
- 朝日 (英)

二段

- 鈴木 (完) (英)
- 高瀬 (国)
- 西潟 (用)
- 石上 (生)
- 若林 (世)
- 岡田 (泰) (事)
- 深沢 (体)
- 遊川 (国)
- 小島 (英)
- 浅川 (事)
- 進藤 (事)
- 太田 (泰) (化)
- 前川 (物)
- 上前 (国)
- 佐久間 (数)
- 椿 (数)



○本木 (養) 三段
 ○勝俣 (国) 二段
 ○天道 (司) 二段
 ○金子 (英) 二段
 ○竹子 (数) 二段
 ○渡井 (化) 二段
 ○田中 (美) 二段
 ○筑山 (音) 二段
 ○中村 (生) 二段
 ○横山 (数) 二段
 ○田崎 (国) 二段
 ○坂本 (国) 二段
 ○高橋 (国) 二段
 ○太田 (頭) 二段
 ○成瀬 (数) 二段
 ○小野 (数) 二段
 ○熊谷 (生) 二段
 ○渡部 (地学) 二段
 ○渡辺 (体) 二段

○西岡 (国) 四段
 ○原田 (事) 四段
 ○金指 (物) 四段
 ○飛沢 (事) 四段
 ○尾関 (用) 四段
 ○高橋 (事) 四段
 ○石田 (長) 四段
 ○丸岡 (長) 四段
 ○稲崎 (長) 四段
 ○紺野 (長) 四段
 ○森 (長) 四段
 ○古瀬 (長) 四段
 ○佐藤 (頭) 四段
 ○岡田 (事) 四段
 ○石川 (頭) 四段
 長||校長
 頭||教頭



御逝去 阿部桂太郎先生

【履 歴】

昭和8年3月 国学院大学高等師範部卒

(国語、漢文、歴史免許状取得)

昭和15年 剣道免許状(練士)取得

昭和27年 書道免許状取得

昭和8年 利根農学校(群馬)勤務

昭和12年 十日町中学校(新潟) //

昭和16年 第三東京市立中学校 //

(現、文京高校)

昭和48年 辞職(在職32年間)

昭和60年12月18日 心不全で御逝去

先生は25年から31年まで、現在で言えば、

教頭の職務と事務長(庶務)の職務とを兼任され、大変お忙しい毎日をご過ごされました。

30年お身体をそこなわれ、3年間休職、その後書道を中心に教壇に立たれました。

吊

辞

阿部さん、いつも呼んでいたように、今も阿部さんと呼ばせて下さい。

夏も冬も、毎朝、生徒と一緒に、裸になって、「紫色旗の下に」を歌って、学校のまわりを走って朝礼をしていた当時から、呼びながらいる名を呼ぶと、その当時のことが、な

つかしく思い出されます。

その頃は、一緒に出かけようという時になると、あなたは、いつも、私たちを、待たせてばかりいました。そのあなたが、どうして、今度ばかりは、私たちをほっておいて、先をいそいだのですか。おいてきぼりにされたと思った時、私は、ただ、ポカンとしていましたが、段々淋しさがつのって来ます。

いつも歌っていた「紫色旗の下に」に、「あ、前進の命くだる」とありましたが、今、その命があなたにくだったのですか。天よりの命なら、淋しくても、我慢します。

阿部さん、長い間、ほんとうに、「誠を貫き、正しくあれ」とわが身に言い聞かせて、長い生涯、長い教師道を生き抜き、最後の敵である死にも、よく戦い、戦い勝って、あの世に凱旋された雄々しくも神々しい御姿目の前にして、「ご苦労さまでした、ゆっくりお休み下さい」という外、言葉を知りません。

阿部さん……とあなたの名を呼ぶと、奥田先生の顔、そして川島校長の顔が浮かびます。そして、思い出すことは市中三創業時代のこと、戦時中の生徒動員のこと、そして、戦後焼野原となった町にぼつんと残った児童館の中に立てこもって、教育し、生活した時代のことです。

教師の殆んどは召集で外地に、生徒の大部分は地方に疎開したままでした。残った数名の教師と少数の生徒で、児童館での豊島中学校の活動がはじまったのです。

今でも鮮やかに心に刻みこんでいることで、思い出すことは、あなたが二年生をつれて、九中に机、こしかけを借りに行き、一人一人の生徒に持たせて、ならんで帰った時のこと。生徒の有志と教師らで、便所を作ったこと。ベスタロッターの労作教育を地で行う生活教育の場でした。黒板、チョークなども整って来たが、時を知らせる鐘になるものがない。

皆で、放課後、焼野原から何か拾って来ようとかけて、焼夷だんのケース三ヶを持って来て、庭の松の枝に、つるして、かんかんとならして、まさに消えようとする豊島中学の教育の火を、燃えたせようと協力した当時のことは、決して忘れることは、できません。

「誠を貫け正しくあれと
導き給う吾らが学び舎」

で一緒に、人生・教育を学ばせていただいた私たちは、外に出ていって、この心で働く者と、内に残って、この精神を後の人に伝える者とにわかれましました。あなたは内に残った一人でした。あなたは、昭和16年、48年の31年の長い間、そして特に、その間八年間、奥

田校長を助けて、今日の文京高校のいしづえを築かれました。この間の苦勞は知る人ぞ知ることです。

黙々と文京高校に尽されたあなたの誠、燃焼しつくした、あなたの努力に、この学校で育った者の一人として、今、改めて、厚く御礼を申します。ありがとうございます。

ゆっくり、平安のうちに、お休み下さい。

川島・奥田先生にお会いの時、よろしく伝えて下さい。私たちはまだ、がんばっている。「散る桜、残る桜も、散る桜」です。お目にかかる時まで、左様なら。

昭和60年12月20日

友人代表 佐々木 益男

(昭和十五年、二十二年英語科教諭)

(文中の九中は現北園高校)



母校校章の

由緒について

市三代会代表 末 正明

私達の都立文京高校は昭和15年、皇紀(初代神武天皇の御即位から起算)二千六百年を記念して、当時の東京市議会で男女夫々各一校の市立中学校の増設が決まり、母校の前身第三東京市立中学校が創設された。そして教

職員の中核として、第一東京市立中学校から同校教頭の川島源司先生が校長、奥園佐吉先生が教頭として任命され、更に奥田行信、河野孝光、川島計治の三先生も行を共にし、五人の先生が一中から転任され、その他佐々木益男先生はじめ優秀な諸先生を迎えて開校された。従って市立一中(現九段高)と三中とは兄弟校と言える。

三中の校章は、菊の部分が市立一中と全く同じで、この由来は、東京市の六角形のマークに菊をあしらったもので、一中の校歌の三番に「前に畏き千代田の大宮、忠勇千古に香る御社近く聳え、四方には抜がる偉大の東京市云々」の一節があり、(因みに一九二八年一月二二日校歌制定、与謝野寛作詞、山田耕筰作曲)当時皇室と同じ菊の紋章を使用するについては、色々とクレームがあつて難航し、菊の花弁の数を變えて校章にすることで許可が下りたと聞いて居ります。また三中の校章は、菊の廻りに後光が燦然と輝く様を圖案化したもので、年々戦時色を深めて行く日本の皇威を象徴したものです。

当時の皇紀二千六百年記念の歌にも「金鷄輝く日本の栄えある光身に享けて今こそ祝えこの明日、紀元は二千六百年云々」とあるが、当時の軍部は軍拡を正当化させるため、国民の

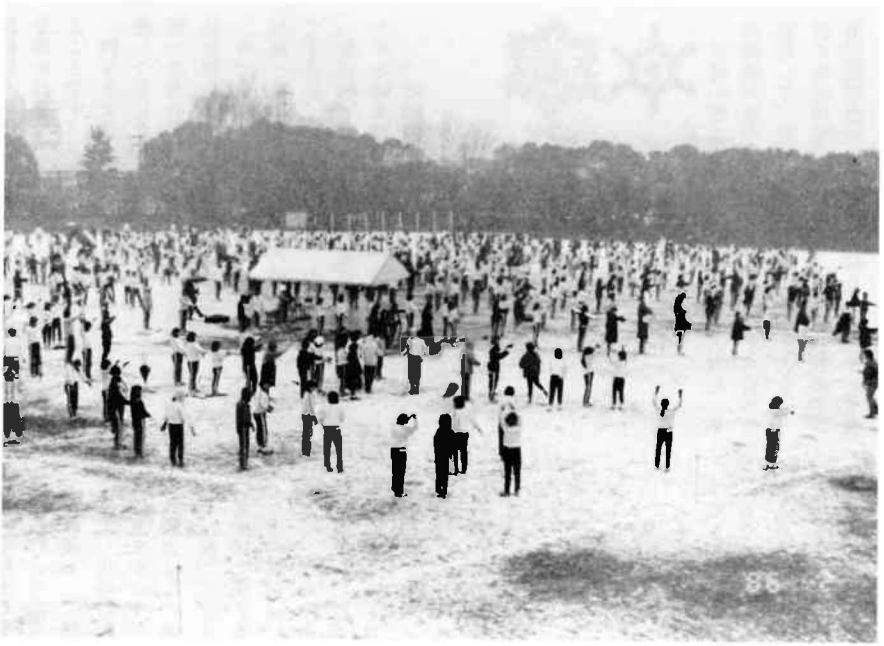
士氣昂揚を計るため一連の記念行事を行った。当時の市電(都電)にも菊人形と国旗を飾つて花電車とし何台も走らせ、東京市民を驚かせたりした。因みに金鷄は、神武天皇が日本全土を平定した際、天皇の弓に金鷄(金色に輝くとび)が止まり、天皇を御守りしたと言う古事の由緒を用いて、皇国の瑞祥とされ居た。

市立三中——都立豊島中——都立文京高校と教育制度が変り、新制高校となった際、中の文字を高と變えて現在使用中である。

(市立一中二回卒業生米津千之氏、初代教頭奥園佐吉先生のご協力による。)

奨学金(図書券)を贈られた卒業生





マ
ラ
ソ
ン
大
会
61・2・1



大
雪
の
登
校
61・2・19



級団対抗リレー・一位ゴール
61・9・24



文化祭・箏曲
61・9・27

卒業生進路状況 一 一

注：()は合格者の中の推薦合格者数
○は合格者の中の二部合格者数

(1) 国公立大(4年) (61年4月調)

大 学 名	現 役	浪 人	合 計	大 学 名	現 役	浪 人	合 計
筑波大学	1(1)	1	2(1)	信州大学薬科		1	1
千代田大学		1	1	富山大学		2	2
東京大学		1	1	群馬大学		1	1
東山大学	1	1	1	立女子大	1		1
梨大		1	1	合 計	3(1)	8	11(1)

(2) 私立大(4年) (61年4月調)

大 学 名	現 役	浪 人	合 計	大 学 名	現 役	浪 人	合 計
青山学院		3(1)	3(1)	東京薬科		1	1
山梨学院		1	1	東大	1	2(1)	3(1)
美林院		2	2	東大	2	5	7
立音塾	1	1	1	東大	5(3)	8	13(3)
習音義		1	1	東大	1(1)	4	5(1)
立心学		1	1	東大	1(1)		1(1)
工学学		2	2	武蔵野音美子	2		2
国駒学		3	3	武蔵野女子	1	2	3
士	1	2	3	明 治	1(1)		1(1)
践 子	1(1)	1	1(1)	明 治 院 科	1(1)	4	5(1)
上智和薬	1		1	明 治 院 科	1	1	1
昭白	1	1	1	明 治 院 科	1	1	1
白成	1(1)		1(1)	明 治 院 科	1	1	1
清専	1(1)	2	3(1)	早 稲 田 商 科	2(1)	1	2(1)
創大	2(1)	6	7	早 稲 田 商 科	1	5	5
大玉	2(2)	2	2	早 稲 田 商 科	4(1)	1	5(1)
中帝	1	4	4	早 稲 田 商 科	3		3
東東	3	2	2(2)	早 稲 田 商 科	3(3)	2	5(3)
東東	2(2)	1	1	早 稲 田 商 科	4(3)(1)	1	5(3)(1)
東東	3(2)(1)	2	5(2)(1)	早 稲 田 商 科	4(3)	1	5(3)
東東	2(2)	2	4(2)	早 稲 田 商 科	2(2)	1	3(2)
東東	1(1)	3	1(1)	早 稲 田 商 科	3(2)	5	8(2)
東東	1	1	1	早 稲 田 商 科	1	1	1
東東	2(1)	1	2(1)	早 稲 田 商 科	1	1	1
東東	1	1	1	早 稲 田 商 科	1	1	1
東東	1	2	2	早 稲 田 商 科	1	1	1
東東	1	1	1	早 稲 田 商 科	1	1	1
合 計	66(32)(4)	92(2)	158(32)(6)	合 計	66(32)(4)	92(2)	158(32)(6)

(4) 国公立短大(2年) (61年4月調)

短 大 名	現 役	浪 人	合 計
都立商科短大	2(1)		2(1)

(4) 私立短大(2年) (61年4月調)

短 大 名	現 役	浪 人	合 計	短 大 名	現 役	浪 人	合 計
青葉学	2(1)		2(1)	東洋女子	6(4)	1	7(4)
明の学	1(1)		1(1)	東横女子	3(1)		3(1)
見学	1	1	2	本女	1		1
跡川	2(1)		2(1)	富文	3(2)	1	4(2)
国駒	2		2	京目	2(1)		2(1)
昭女	2(1)		2(1)	白泉	3(2)		3(2)
和子	2(1)		2(1)	武蔵野	1(1)		1(1)
聖女	1		1	国際	1	1	1
戸德	3(3)		3(3)	和赤	1		1
洗板	3(1)		3(1)	白上	1		1
東家	1(1)		1(1)	相模	2(1)		2(1)
東家	2(1)		2(1)	邦医	1		1
東家	1		1	合 計	61(27)(3)	5	66(27)(3)
東家	1(1)		1(1)				
東家	3(1)		3(1)				
東家	2(2)		2(2)				
東家	5(2)(1)		5(2)(1)				

卒業生進路状況 — 2 —

(5) 各種・専修学校 (61年4月調)

学 校 名	現役	浪人	学 校 名	現役	浪人
帝京看護専門学校	1		国際美容専門学校	1	
東京工科大学	3(2)		東京工業専門学校	1(1)	
東日本電気専門学校	1(1)		ホンダインターナショナルテクニカルカレッジ	1	
東京工学院	1		桑沢デザイン研究所	1	
中央工学校	2(1)		富士ビジネス専門学校	1(1)	
東日本デザイン専門学校	2(1)		豊島医師会立看護専門学校	2	
京セライナナ学学院	5(1)		阿佐ヶ谷美術専門学校	1	
東京化写真真装服飾専門学校	1(1)		国際アニメーション研究所	1	
文京田中理代美容専門学校	1		トヨタ学園日本自動車整備学校	1	
東武蔵野調理専門学校	4(1)		大塚末子きもの学園	1	
服部栄美容専門学校	1		早稲田電子専門学校	1	
日本動物植物専門学校	2		横浜赤十字看護専門学校		1
バンバシフィックインスティテューツ	1(1)		国立療養所リハビリテーション学院		1
竹早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	3(2)	1	早稲田情報ビジネス専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東京エアトラベル専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		文化服飾専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東京都立職業訓練校	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		メークアップアーティスト学院	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		日本エディタースクール	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東京YMCA社会体育専門学校	2(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		日大歯学部付属歯科衛生専門学校	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		池袋調理師専門学校	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東京CPA(経理)	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		都立広尾看護専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東恵慈恵専門学校	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		ヒコ・みずの宝石専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東洋工業専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		メンズファッション専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		文京女学院医療技術専門学校	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		東京YMCAデザイン研究所	2(2)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		講談社フェイマースクール	1	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1		お茶の水スクールオブビジネス	1(1)	
早立徳神田東東京津東一大村東彰都立本	1(1)		合 計	89(38)	3

(6) 就職予定者 (61年11月5日現在)

氏 名	企 業 名	氏 名	企 業 名
B 中野 雅恵	東京商銀信用組合	F 浜名ゆう子	野原産業
B 林 伸子	太陽生命	F 井上 恵	N T
B 吉田由紀子	三菱レイヨ	F 江頭 智子	住友クレジットサービス
C 神田 由美	アルテ	G 武井真寿美	東京相銀
C 根本 淳子	新聞海外普及	H 前出 晴美	藍沢証券
D 明石 麻希	日本不動産研究	H 渡辺 有里	東京相銀
D 白土 恵子	西友	H 伊 藤 剛	ダイエー
D 田中恵美子	東京都民銀行	H 望月 久光	ダイエーインターナショナルホテルズ
D 野原 元子	資生堂	H 藤井 寿樹	京王プラザホテル
E 会田 泉	住友銀行	I 古藤はるみ	泉センターサービス
E 早坂久美子	三井銀	I 渡辺 素美	サンシャイン興業
E 志村 佳代	資生堂	J 山田 良一	セントラル硝子
F 檀上 正行	日本証券	J 柳本江美子	日本精工

中村耳鼻咽喉科医院

一期C 中村 信成

〒281 千葉市幕張町6-288-3
Tel (医院) 0472-73-7026
(自宅) 0472-72-6625

**同窓有志の集い
市 三 会**

世話人 一期B 末 正明
一期B 栗原正昭
4期E 榎本幸三

勝山歯科医院

一期A 勝山 和夫

〒130 墨田区太平3-14-5
Tel(医院)623-6592(自)671-8100

池谷製作所

(メガネ・レンズ製作)

一期D 池谷 利一

〒160 新宿区大久保2-13-16
Tel(会)209-8631 (自)209-8118

**出光ガソリンスタンド
自動車販売整備**

飯田橋・神保町

一期B 末 正明

〒112 文京区後楽2-6-1
Tel(会)261-5111 (自)811-0755

**ヨシヒデ金属KK代表取締役
非鉄金属材料の販売**

一期A 郡司 良典

〒203 東久留米市小山1-17-3
Tel 0424-71-4415

銀座菊地病院・救急病院

(内科・外科・整形外科・皮膚泌尿科)
(婦人科・眼科・人間ドック・検診)

院長・二期A 湖山 聖道

〒104 中央区銀座7-13-15
Tel (病院) 541-1151
(自宅) 465-6113

(株)栗原製作所

(各種ディスプレイ企画製造)

一期B 栗原 正昭

〒111 台東区元浅草4-5-5
Tel 841-2515(代)

弁 護 士

一期A 渡辺 剛彰

〒113 文京区西片2-12-23
Tel(事)814-1984 (自)811-7704

医療法人 池袋大久保病院

(内科・胃腸科)

院長

二期B 大久保 宏

〒171 豊島区西池袋1-43-5
Tel (医院)987-3785~7
(自)981-1623

八洲印刷K.K.

一期B 川上 光男

〒114 北区王子本町2-11-6
Tel(会)909-3211 (自)815-2839

豊玉整形外科医院

一期A 鈴木 勲

〒176 練馬区豊玉北5-30
TEL 991-8424

弁 護 士

二期D 原田 策司

〒104 中央区銀座7-5-4 毛利ビル4階
Tel 571-1780(代)
〒145 大田区上池台3-30-1 (自宅)

小林学習塾塾長

(小・中・高マンツーマン指導)

一期B 小林(石垣)一夫

〒174 板橋区東山町5-13
Tel 972-1227

三崎町医院

成人病相談

一期B 福山 正臣

〒101 千代田区三崎町2-21-1
TEL(医院)261-7446
(自)904-4844
社会福祉法人 全国ペーチェット協会

弁 護 士

二期E 早川 律三郎

〒150 渋谷区神宮前2-30-5
原宿キャステル 209号
早川律三郎法律事務所
Tel 475-0330・0339

虎の門日比谷クリニック
(皮膚科・泌尿器科・形成外科)
健保扱い

一期C 山中 秀男

(自)〒152 目黒区目黒本町4-8-20
〒105 港区虎ノ門1-1-20
虎ノ門実業会館5階
Tel(医院)508-2508 (自)714-9518

高松診療所

一期B 野久保 泰徳

〒190 立川市高松町2-2-14
Tel 0425-27-3541

星野家具店

19期E 星野久男

〒173板橋区仲宿40-4
Tel 961-9567**西武バスKK経理部**

11期A 松原紀之

〒177 練馬区石神井町8-36-12
光ハイツ
TEL(自宅)996-5208
TEL(会社)989-3032**群馬大学教授**

三期C 木村駿

〒176 練馬区小竹町2-45
Tel(自宅)955-2772
(勤務先)0272-32-1611**南浦和・セキハタ歯科医院**

21期I 関端徹

〒336 浦和市南浦和2-7-17
Tel(医院)0488-86-1818
(自)0482-68-9176**NEC ELECTRONICS INC USA**

13期F 橋本浩一

〒248(留守宅)鎌倉市浄明寺
1362-455
(自宅)21834 CORTE MADCRA
CUPERTINO CA 95014 USA
TEL(留守宅)0467-24-2950
(自宅)408-996-2974(USA)
(会社)415-960-6039()**産婦人科**

三期E 小室陽一

〒114 北区岸町1-12-22
Tel(医院)907-0303(自)907-0280ビストロ・ポニータ(西洋料理店)経営
同期会クラス会の会場を承ります

23期E 中井寿子

(店) 〒176 練馬区旭丘2-44
(江古田駅近)
TEL(店) 958-6300
(自宅) 267-5780**下田特許事務所**

弁護士

17期E 大橋邦彦

〒171 豊島区長崎2-29-17
Tel(自宅)957-1533
(事務所)438-9181**静谷クリニック**

(内科)

四期B 静谷晴夫

〒170 豊島区西巢鴨4-6-2
Tel(医院)910-1136(自)910-1219**斉藤商店(精肉・食品卸)**

29期 斉藤智夫

〒112 文京区白山5-1-15
(会社) TEL 815-5771
(自宅) TEL 815-0029**税理士**

18期C 野中 滋

〒170 豊島区駒込1-3-6-802
中根事務所内
TEL. 945-8594
自宅 豊島区東池袋2-52-1
TEL. 982-0705東京都北区議会議員
医療法人赤羽病院理事長
王子税理士会顧問**税理士**

四期E はいばら富士雄

〒115 北区志茂1-17-13
TEL 901-8554大型NC加工・精密機械加工
各種コハク・各種金属挽物加工一般有限会社 田端製作所
代表取締役 32期A 菅沼清一本社・工場 豊金市広瀬177-3 Tel 4755-8531-2
営業所 北区上子4-5-5 Tel 927-4625(FAX東邦)
自宅 北区東田端1-12-10 Tel 893-1322**松栄(靴下・婦人下着小売)**

18期G 松井好彦

〒111 台東区浅草橋1-21-1・松栄
Tel(会社)866-9711
(自宅)0473-36-2395**株式会社ウケミカル(入浴剤製造)**

4期C 佐藤佳男

〒352 新座市野火止8-16-7
Tel(会社)0484-81-2323
(自宅)0484-74-8456

賛助金は1口1万円です。

(名簿付)

同窓会までお申込み下さい。

弁護士

18期H 宮本 智

〒100 千代田区有楽町1-6-8
松井ビル6階
旬報法律事務所
TEL(事務所)580-5311
(自宅)926-5354**静谷歯科医院 (歯科一般)**

4期D 静谷栄夫

(午前) 〒170 豊島区駒込3-11-3
Tel 915-1108
(午後) 〒170 豊島区巢鴨3-8-15
Tel 915-0072

昭和61年度
予 算 案

〔収 入〕	8,160,640円
繰 越 金	2,481,140円
利 息	850,000円
会 費 (9,500×481)	4,569,500円
その他 賛助金	240,000円
名 簿	20,000円
〔支 出〕	6,193,000円
経 常 費	4,055,000円
各 部 (名簿・会報各5,000円, 事務手当10,000×4)	50,000円
名 簿 (800部+バラ50部) @ 2,000	1,700,000円
会 報 (12,500部) @ 34円	425,000円
" 送料 (70×11,000)	770,000円
" 宛名書き	120,000円
" 発送費	100,000円
学校案内	170,000円
後援費 (母校・卒業生)	150,000円
通信・交際費	130,000円
運 営 費	200,000円
奨学表彰費	140,000円
慶 弔 費	50,000円
予 備 費	50,000円
基本財産	1,500,000円
奨学基金	138,000円
会館基金	100,000円
50周年基金	400,000円
〔繰 越 金〕	1,967,640円

都立文京高等学校同窓会会報
紫 箱 第 29 号
昭和61年12月1日刊
編集・野尻 嘉平
大久保秀久・近藤 惠
沢 隆太・庄原いずみ
新妻 栄治・江島裕美子
根本 知幸・石元 良江
古藤 直美
渡部 高史・関 ゆみ子
住所 豊島区西巢鴨1-1-5
〒170-0910
郵便振替番号東京0:62011
印刷 シミズ印刷 電話 六三二・六三五

昭和60年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和60.6.1~61.5.23の間の会計は次の通りになります。

昭和61年5月31日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
昭和61年5月29日 会計監査 横沢 靖夫
鎌田 次彦

1. 財産目録 (61. 5. 23)	
イ. 基本財産	15,910,000円
ロ. 現 金	2,481,140円
ハ. 物 品	
①両開き書庫 4 ②書類入れ 1	
③金庫 2 ④手提金庫 1 ⑤机 2	
⑥いす 1 ⑦ファイル 1 ⑧ストー プ 1 ⑨カメラ 3 ⑩三脚 1	
ニ. 郵便口座	9,000円
ホ. 奨学基金	2,838,121円
ヘ. 会館建設基金	1,855,105円
ト. 50周年基金	1,200,000円
2. 現 金	
イ. 収 入	9,444,130円
繰 越 し	3,103,440円
会費(60年度卒9,000×421)	3,789,000円
賛 助 金	90,000円
奨 学 金	10,000円
利 息	827,767円
名 簿	6,000円
郵便振替	1,418,500円
寄 付	161,423円
そ の 他	38,000円
ロ. 支 出	6,962,990円
経 常 費	3,861,490円
内	
各部・事務手当	50,000円
名簿(800部とバラ)	1,579,000円
会報(12,000部)	396,000円
" 送料(70×10,760部)	753,200円
" 宛名書き・発送	220,000円
学校案内	152,000円
後援費	80,000円
通信交通費	132,400円
運営費	114,090円
名簿アンケート用紙代	48,000円
幹事会費	41,000円
慶弔費 (阿部先生)	10,000円
奨学表彰(20,000×7人)	140,000円
耐火金庫	25,800円
パソコン第2水準漢字	100,000円
その他	20,000円
基本財産	1,300,000円
奨学基金	1,201,500円
会館基金	200,000円
50周年基金	400,000円
ハ. 繰 越 金	2,481,140円